



日本放射線技術学会中部部会

《 第50回画像研究会 》のお知らせ

『Digital mammography における 被ばく低減の最前線』

画像研究会代表世話人 市川 勝弘、國友 博史

第50回画像研究会は、講演形式にて「Digital mammography における被ばく低減の最前線」をテーマに開催します。Full field digital mammography (以下、FFDM) の登場によって、film-screen system で撮影していた頃の撮影理論とは異なる手法が良いとされつつあります。FFDMにおいて、近年提唱されている新たな手法について紹介します。

なお、技術学会会員・非会員を問わず、参加可能ですので、多数の参加をお待ちしています。

日時：平成25年9月28日(土) 14時00分～16時50分

会場：名古屋市立大学 中央診療棟 3階 大ホール

* 会場案内は、当日病院入口に掲示いたします。

* 地下鉄桜通線 桜山駅下車

会費無料、事前参加登録 不要

1. Digital mammography の基礎的画質特性について

基調講演「mammography の画質特性と乳癌に対する考え方について」

名古屋市立大学 放射線科 浦野 みすぎ 医師

2. 被ばく低減ための高電圧化の有用性

2-1 高電圧化による基本特性について

金沢大学病院 放射線部 森下 あゆ美 氏

2-2 CdTe 型フォトンカウンティングマンモグラフィを用いた被曝低減のシミュレーションによる検討

名古屋大学大学院 医学系研究科 丸山 星 氏

3. photon counting mammography の臨床技術について

～低線量撮影システムとして、有用性と被ばく線量～

キヤノンライフケアソリューションズ 中澤 雅美 氏

4. Tomosynthesis の臨床技術と基本特性について

名古屋市立大学病院 中央放射線部 簗 理英美 氏

* 問合せ先: 名古屋市立大学病院 國友まで

E-mail ; rakunny"AT"med.nagoya-cu.ac.jp

"AT"を@に変換してください。

